

# Weekly 原油情勢

改定幅予想(6/19~6/25)

**+4.0~+5.0**

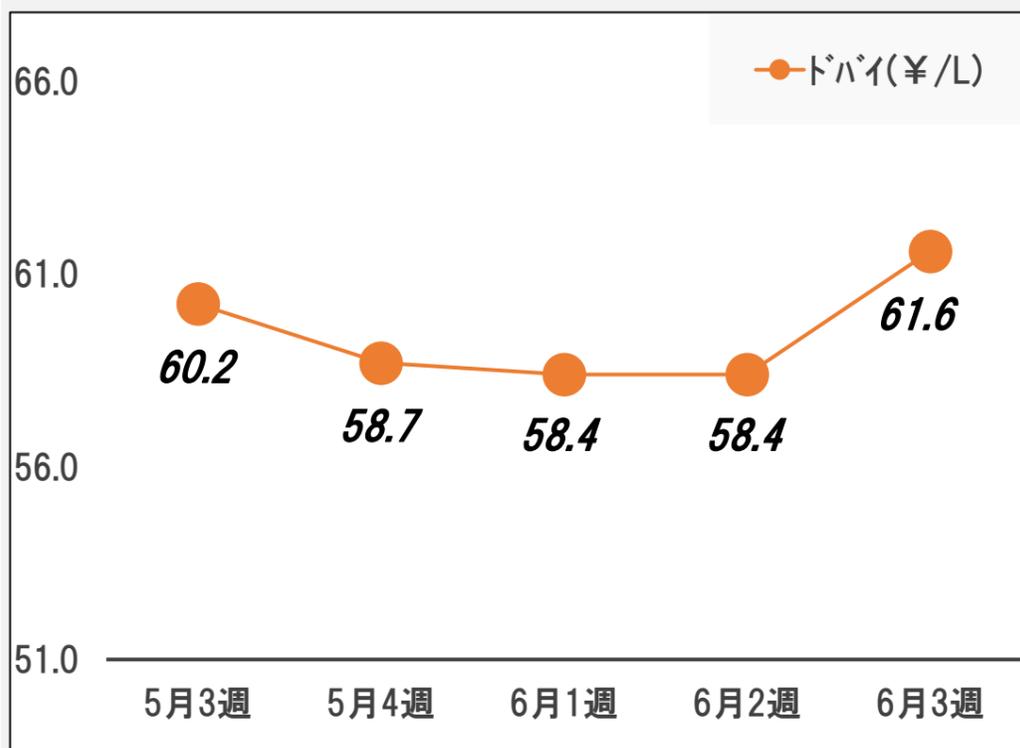
6月3週(6/10~6/16)トピックス

原油は急反発。イスラエルがイランの核関連施設を攻撃したことで、恐れていた中東情勢の緊迫化が現実化し、地政学リスクが台頭している。

過去トピックス

- 5月3週▲ ニューヨーク原油相場がイラン産原油の制裁緩和観測から急落した後は、基本的に相場は動いていない。 ※補助金の適用で値下げ予想。
- 5月4週▲ 原油は続落。米国で在庫が上振れたことに加え、長期金利の上昇に伴う株安が進んだことで、原油は売りが先行している。
- 6月1週▼ 原油は続落。再び関税政策の不透明感から、リスク回避のムードが強まっている。当面の焦点は、米国の関税交渉。特に米国と欧州、米国と中国の関税交渉の行方が原油相場を左右する。
- 6月2週▼ 原油は小動き。米国のガソリン在庫が市場予想に反して増えたことや、サウジアラビアがアジアの顧客向けの7月原油販売価格を4年ぶりの低さに迫る水準まで引き下げたことが弱材料視。

価格推移表



週	期間	ドバイ(\$/バレル)	為替(TTS)	ドバイ(¥/L)	増減幅
5月3週	5/13~5/19	64.9	147.6	60.2	2.0
5月4週	5/20~5/26	64.4	144.9	58.7	-0.9
6月1週	5/27~6/2	64.0	145.1	58.4	-0.3
6月2週	6/3~6/9	64.3	144.3	58.4	0.0
6月3週	6/10~6/16	67.2	145.6	61.6	3.2

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス ▶▶▶

